

立教185年
活動方針

末代の道に向い、素直にひながたの道をたどろう
 「おやさまのひながたとは、
 ようばくを育て増やすこと」
 ・初席者 66名 ・中席者280名

◇11月13日 本部巡教 終了◇

本部員・田中善吉先生にご巡教頂き、「諭達」に
込められた精神と年祭活動の意義を聞かせて頂いた。

◇11月27日 第30回女子青年大会 終了◇

快晴のご守護のもと、7名の女子青年が参加させて頂いた。

◇修養科志願者事前研修会◇

来年1月より修養科事前研修会がスタートします！
詳細は3ページをご覧ください。



発行所
 天理教網走大教会
 布教部出版広報掛
 〒093-0073
 網走市北3条西6丁目
 TEL 0152-43-2227
 FAX 0152-44-2227



大教会のHP がご覧になれます！
 月報には掲載されない写真もいっぱいです！
 ぜひ一度ご覧下さい♪

大教会十一月月次祭

大教会11月の月次祭は、12
 日午前9時30分から大教会長
 祭主のもと、執行された。

大教会長は祭文で、親神様
 のご守護に御礼申し上げた後、
 「本部の秋季大祭に於いて、
 ありがたくも真柱様より直接、
 ご諭達の発布を賜りましたこ

神 殿 講 話

桐谷善広 准役員



神殿講話要旨

今年に入り、大教会長様は
 三年千日が始まる前の準備期
 間が大切で、どう準備するか
 でスタートが変わってくる
 という趣旨のお話を幾度もして
 下さいました。会長のお許し
 を戴いて、初めての教祖年祭
 を迎えるにあたっての三年千
 日であり、今までの後継者の
 立場とは責任も重みも全く違
 います。どう準備したらよい

ものかと、思索している中、
 自教会の月次祭をつとめてい
 る時に、ふと、この中で3年
 後、何人の方が140年祭を参拝
 しておぢばに帰らせて頂ける
 のだろうかと思つたのです。
 ありがたいことに、まだまだ
 お元氣な信者さんばかりで
 すが、若い世代が少ないので
 す。分かつてはいたことでは
 が、なかなかこれまでは動け
 ずにいました。今動かしかな
 い、今動かないと、この教会
 に未来はないと思つた時に、
 3年後の目指すべきところが
 見えてまいりました。
 準備はまだまだ途中であり
 ますが、そうこうしているう

と心よりお礼申し上げます。
 頂戴したお言葉を親神様の思
 いと受け止め、まずは来年迎
 える教祖百四十年祭三年千日
 に向け、着々と準備を進めさ
 せて頂く所存でございます。」
 と奏上した。
 その後座りづとめ・十二下
 りのてをどりが勤められ、参
 拝者は共に勇んでみかぐらう
 たを唱和した。
 ちに10月になり、おぢばへ帰
 らせて頂き、25日に館山分教
 会長・石崎安善先生のおかえ
 り講話を聞かせて頂きました。
 講話のテーマが、「どのよう
 に信仰を繋げていくか」とい
 うお話で、ご自身の教会のこ
 と、部内教会のことなどをお
 話下さいました。今私は「つ
 なが」ということを考える時
 間が多かつたためか、ああそ
 うだよな、やっぱりそこが大
 事だよななどと心にスーッと
 入ってくるお話ばかりでした。
 そして26日、真柱様から「諭
 達」をご発布頂き、その中の
 一文に、「教祖お一人から始
 まつたこの道を、先人はひな
 がたを心の頼りとして懸命に
 通り、私たちへとつないで下
 さつた。その信仰を受け継ぎ、
 親から子、子から孫へと引き
 継いでいく一歩一歩の積み重
 ねが、末代へと続く道となる
 のである」とお示し下さいま
 した。
 「諭達」、石崎先生の講話、
 そして今、自分が心に置いて
 いることを合わせて考えます
 と、私の中でこの三年千日
 は「つなぐ」ということをテー
 マに通らせて頂きたい、そう

本部巡教

本部巡教が、11月13日、午前9時30分より、大教会参拝場において、本部長・田中善吉先生(中河大教会会長様)のご巡教を頂き開催された。

親神様・教祖・祖霊様礼拝後、全員で「諭達」を拝読させて頂き、その後、先生のお話を約1時間聞かせて頂いた。受講者は、「諭達」に込められた精神と年祭活動の意義をしっかりと心に治めさせて頂き、閉講の挨拶で大教会長は「おちばの理をしっかりと受けさせて頂き、心定め達成に向け、人だすけをさせて頂きましよう」と締めくくられた。最後に田中先生を芯に全員でおつとめをさせて頂き閉講となった。▼参加者61名



第30回女子青年大会

11月27日、第30回女子青年大会が開催された。

3年ぶりとなる開催に、網走大教会からも7名の女子青年が参加させて頂いた。

大会当日は快晴のご守護を頂き、真柱様よりお言葉(表統領先生代読)、婦人会長様よりご挨拶を頂戴し、3名の女子青年から「あゆみ」の発表、そして女子青年代表が「誓い」を行い閉会された。

大会後には、記念建物を見学しながら落ち葉拾いのひのきしんをし、その後、「支部



女子青年7名・スタッフ3名のつどい、天理プチ観光をさせて頂いた。

修養科志願者事前研修会のご案内

【目的】 この研修会は、おちばで修養科を志願される方、また将来的に修養科を希望される方に、「真にたすかる道」を学んで頂く入り口と位置づけております。「だめの教え」と仰せ下さるご教理を、基礎から学び、心の入れ替えをお手伝いさせていただきます。

【開催日】 2泊3日(1日目13時開講、3日目10時30分閉講)
毎月11日・12日、23日～28日を除く日
※年末年始(12月28日～1月12日)は休講
※原則受講日の1ヶ月以上前に、所属の教会を通して布教部長までご連絡下さい

【会場】 天理教網走大教会 **【受講御供】** 1人 3,000円

【お申込み】 細木 善信 携帯番号：090-2072-6130

※この研修会は令和5年1月より開始されます

思わせて頂きました。私たちお道の人間は、「つなぐ」という言葉をよく使いますが、「つなぐ」と聞いてパッと頭に思い浮かぶのは、十全のご守護の中のくにさづちのみこと様ではないでしょうか。「人間身の内の女一」の道具、皮つなぎ、世界では万つなぎの守護の理」でありませんが、金銭、縁談、よろづつなぎ、皮つなぎ、また生命のつなぎ、こういう全部のつなぎのご守護の理であります。私はもともと、短気な性格のため、「つなぐ」ということが苦手であります。今でも得意な方ではありませんが、今は自分の中で「つなぐ」という課題が山積みでありますので、避けて通れなくなってしまうまいりました。

特に信仰を繋いでいくという課題は、どこの教会でも、信者家庭でも今頭を悩めている1つではないかと思えます。「諭達」にもありますように、親から子、子から孫へと信仰を引き継いでいかななくてはならないのですが、引き継いでもらうこと、繋いでいくことの難しさを今ひしひしと痛感

しております。ではなぜ難しくなっているのでしょうか。私自身のことを考えましても、今こうして大教会の神話で講話をお話させて頂くことは20年前の自分を思い返すと考

えられないことでもあります。いずれば教会を継ぐのだからなというあいまいな気持ちではなく、自分が信仰を繋いでいこう、という強い気持ち。当時は全くありませんでした。大学で教員免許を取得し、卒業後は学校の教師になるという目標があった私は、その準備をひそかに進めていました。卒業が近くなり、進路の話になった際、布教の家に行つて欲しいと、当時会長であった父親に言われ、自分の進みたい方向と全く逆の選択を迫られました。何度考えても布教の家に行くという選択肢を選びました。結果、布教の家に行かせて頂き、何とか一年通らせて頂きましたが、あの時に違う選択をしていたら今私はこの場にはいなかったと思います。今思えば私の場合はあの時

に布教の家という選択をしたことが間違っただけでなかったし、その後、大教会青年を経て、様々な御用に使うて頂けるようになったことを考えますと、あの時に布教の家という選択肢を与えて下さり、私をお道から外れないように神様に繋いで下さったお陰なのだと思えます。

教師という職にはつけませんでした。10年前に、学生生徒修養会のスタッフの御用を頂き、高校の部、大学の部、高校卒業生コースと、様々な御用の中で、多くの学生と関わらせて頂き、本当に有難い時間をおちばでお与え頂くことができました。

私は男子の学生と接することが多かったのですが、教会の後継者もいれば、信者家庭の子も申し訳ありませんが、あまり信仰熱心な子があらず、多くの子が大教会青年や専修科に行くか、違う道に進むかで悩んでいたりと、信仰があまり好きになれないという子が多かったのです。よくよく話を聞いていきますと、親の苦勞

する気になれないや、お金に苦勞したくないなど、目に見えていない部分でそう思っている子が大半でありました。そこで、自分の家の信仰の元一日を知っているか、と尋ねると、3分の2の子たちは何となくしか答えられないのです。私も高校生の時を思い出して

も、信仰の元一日を明確に答えられたかどうかは定かではありませんが、実際目の当たりにすると、そりゃ信仰も繋がらないよなと思わざるを得ないのです。生活が豊かになり、物が溢れ、医療が発達してきた今、何不自由なく暮らせ、苦勞することをほとんど知らない子たちに、教祖が通

り下されたひながたのお話をしても、時代が違うからなあで終わってしまうのです。それでも私たちは親神様・教祖の思召を伝えていかななくてはなりませんので、進路で悩んでいる子には自分の経験

を話した上で、会長さんや親に自分の家の信仰の元一日を聞いてもらい伝えました。すると、一人の後継者の子が、帰つて親に話を聞いて嫌な気持ちにはあんまり変わらないけ

ど、家のいんねんを聞いて、大教会青年に行くことにしましたと笑いながら連絡をくれたのです。おふでさきに、だん／＼とこどものしゆせましかねる 神のをわくこればかりなり (四―65)

と仰せられます。教祖は、私たち道の子が心を澄まし、親神様の思いに沿いつつ、たすけ一条の道を歩むことを望まれておられるのです。

私がこうして今お道に繋がっていられるのは、親神様・教祖のおかげであることは申すまでもありませんが、また一つには、様々な方々が私に心を繋いで導いて下さったおかげだと思えます。

若者に限らず、信仰を引き継いでいく、繋げていくことは簡単なことではないと思えます。代を重ね、初代が助けて頂いたご恩、お道にお引き寄せ頂いたご恩が薄くなり、親から子、子から孫へ伝えなければならぬことが伝わらなくなってしまうので、はなから初心に返らせて頂き、私たちが繋げて頂いた分、

動 静

◎年 祭
▼直轄所属・柿沼キミの霊様の10年祭が11月17日、札幌市の自宅にて大教会長祭主のものと執行された。
▼直轄所属・深井幸の霊様30年祭が11月19日、大教会にて大教会長夫人祭主のものと執行された。

11月人のご守護

○初 席 者 (2名)
女満別 福田 綾子
誠 陽 伊藤 正将

○中 席 者 (2名)
直 轄 東 陽 菜
女満別 福田 和彦

○おさづけの理拝戴者(1名)
直 轄 東 陽 菜

○修養科修了者 (1名)
陽 光 池 田 いさ子

○三日講習会受講者 (1名)
實 東 吉 田 智子

○別席傍聴願 (2名)

育英会寄付者

網徳分教会 四代会長10年 祭

大教会11月の動き

1日 役員会会議。みそか

3日 直轄世話人会
6日 縦の伝道日
7日 お話し会
8日 お社掃除
9日 網走支部例会会場
10日 役員会会議
11日 布教部例会
12日 月次祭。役員会会議。連絡会。教会長夫妻練り合い
13日 本部巡教
16日 会長、直轄信者まわり(19日まで)
17日 会長、柿沼キミの霊様10年祭つとめる。支部婦人会例会会場縦の伝道日
20日 会長、おどばがえり
22日 会長、本部神殿奉仕つとめる。詰所23会
23日 会長、本部災救援会議出席
25日 本部月次祭遙拝。会長、教区主事会出席。結城和広役員、本部神殿奉仕つとめる
26日 女子青年大会。会長、かなめ会出席、全教会一斉巡教説明会出席。細木善信役員、本部神殿奉仕つとめる
27日

30日 会長、嶽東大教会創立130周年記念祭参拝

Table with 2 columns: 初席 (2席), 中席 (4席), 累計 (13席, 55席)

1年を振り返って

今年もあつという間に1年が終わろうとしています。皆様はこの1年、どうお過ごしだったでしょうか？結局今年もコロナに翻弄された1年だった気がいたします。少しずつ規制も緩和され、おどばでの行事も再開し始めましたが、コロナ前に比べると、やっぱり何か物足りなさを感じてしまいます。
いよいよ来年からは教祖140年祭に向かう三年千日がスタートいたします。コロナが流行する前の状況になるにはまだまだもう少し時間はかかりそうです。今だからこそ出来ることを見つけて、来年も勇んでつとめさせて頂きましょう！
▼月報編集部一同▲

立教185(令和4)年人のご守護成果表 (11月末現在)
Table with columns: 教会名, 初席, 中席, ようほく, 三日講習, 修卒, 教人, 婦参者, 参者, 教会名, 初席, 中席, ようほく, 三日講習, 修卒, 教人, 婦参者, 参者

11月 月次祭 11/12(土)
Table with columns: 神職講話, 賛 者, 指図方, 扨者, 祭主, 祭員, 祭典, 役 割, 前 半, 後 半